

Interview

波照間島のムシヤマを 見に行きたい！

民俗学的な世界を知って、
俄然、沖縄がおもしろくなってきました。
いま、いちばん行きたいところ？

みうらじゅんさん

イラストレーターであり、作家、ミュージシャンとしても活躍するみうらじゅんさんは、「勝手に観光協会」を立ち上げ、全国を旅してきました。なかでも沖縄には毎年、家族や友人たちと一緒に出かけているリピーターです。みうらじゅんさんがとらえた沖縄の魅力を語っていただきました。

青い海だけじゃない インドア派の沖縄の楽しみ方

もともと僕はインドア派で、海とか自然が苦手なんです。泳げないし、目的もなくただポーツとしているのもダメ。以前、町の看板文字で般若心経を作る「アウトドア般若心経」というのを考えたときに、「波」の字がほしくてはるばる波照間島まで行ったことがあるんです。ところが公民館の「波」の字を撮っただけで目的がすべて終わってしまい、やることなくホント困りました(笑)。

だけど嫁(シンガーソングライターのbirdさん)は沖縄が大好きで、しかもダイビングのライセンスも取っていたほどアウトドア派。だから結婚後は、嫁さんに案内されて、宮古島、石垣島、西表島、黒島と……いろんな島に行きました。今は家族で毎年のように沖縄に行っています。行くと10日間ぐらいい滞在するかな。そうやって何回も沖縄に行くうちに、目的もなく時間を潰すことも少しは身につきました。例えば洗濯。僕、全く洗濯しなかつたんですけど、沖縄でコインランドリーに行くのが好きになった。それまで生活に即したことを趣味にしてこなかつたんで、「あつ、こ



那覇で買ったミルク様のお面を手に。

れもありじゃん」と思いました(笑)。そのうちに朝日を見に行ったり、自転車借りて島を巡ったりできるようになりました。有名な亀甲墓や、家の形をした破風墓などいろんなタイプの墓を見つけて面白いなと思ったり……。

このごろは友達も誘います。皆、インドア系だから、心の中で沖縄に憧れているけど、誰からも誘ってもらえない。僕が話すのを聞いていただけだったんですが、そんなやつらをしつこく誘うと、「海パンは持っていったほうがいいですか?」とか、しょうもない質問をしてくる。沖縄に行くなら泳がなきゃいけないと構えているんですね。だから僕が、沖縄コーデイナーのつもりで連れて行きました(笑)。

